

東北大学大学院情報科学研究科  
言語変化・変異研究ユニット主催

# 講演会とチュートリアルのご案内

講師

西山 國雄 先生

(茨城大学人間社会科学部教授)

日時： 2018年9月18日(火)

場所： 情報科学研究科棟3階小講義室

チュートリアル：13時半～15時 「アクセントと複合語」

概要：形態構造を知る上で、アクセントは有効な基準となる。本チュートリアルでは日本語のアクセントの基礎と複合語のアクセント規則を導入し、それが語と句をどう区別しているかを見る。そして構造としての語と句の区別がアクセントとしての語と句の区別と対応しない例（右分かれ構造、Word+）について、先行研究と自説を紹介しながら考えていく。

講演会：15時半～17時半 「日本語複合述語の構造と派生：動詞由来複合名詞、複合形容詞、「ない」イディオム」

概要：日本語の複合語に関する3つのテーマを扱う。動詞由来複合名詞では、「立ち読み(する)」、「本読み(\*する)」、「黒こげ(だ/の)」派生を分散形態論の枠で分析する。複合形容詞では、「欲深い」は「経験豊富な」や「ヨーロッパ旅行(中)」と同様に統語的に派生すると分析する。更に「欲深い」とoil-richのような英語の複合形容詞との構造の共通性を追求する。「ない」イディオムでは、Kishimoto and Booij (2014)が扱った「仕方がない」などのイディオムを、構文形態論の枠は用いず、通時的な語彙化(lexicalization)により分析して、類似の「気に食わない」のようなイディオムにも拡大する。

多数の方のご来聴を歓迎いたします（申し込み・参加費不要）

本講演会は、東北大学運営費交付金、東北大学大学院情報科学研究科講演会・シンポジウム開催支援経費、科学研究費・基盤研究(C)課題番号16K02753(形態部門と統語部門にまたがる文法化と構文化についての統語論的研究)による補助を受けています。

問い合わせ先：小川芳樹(ogawa@ling.human.is.tohoku.ac.jp)

言語変化・変異研究ユニットURL：<http://ling.human.is.tohoku.ac.jp/change/home.html>